

令和5年度三重県沿岸種資源評価

シヤコ

資源水準・動向

低位・減少

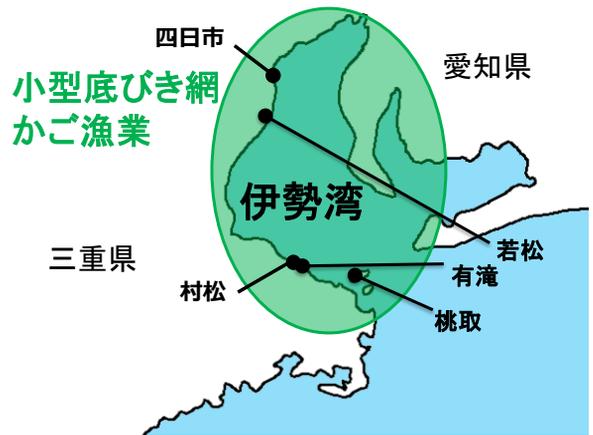


生物情報

- ・ 内湾の水深10～30mの泥底に巣穴を掘り、甲殻類や小型の二枚貝類、魚類などを捕食する。寿命は4歳で、2歳で10cm以上になる。マアナゴやハモに捕食される。
- ・ 約1歳で体長約8cmに達し、成熟する。産卵は巣穴の中で行われ、雌は卵塊を保育する。伊勢・三河湾における産卵期は5～9月で、1産卵期中に複数回産卵する。
- ・ 雌は精子を保存することが出来るため、交尾と産卵の時期は必ずしも一致しない。
- ・ ふ化した幼生は浮遊生活期を経て着底する。

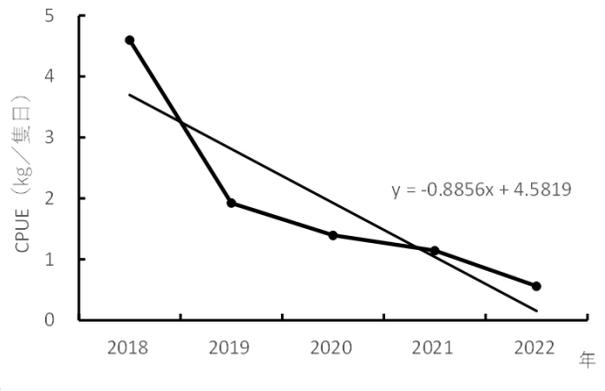
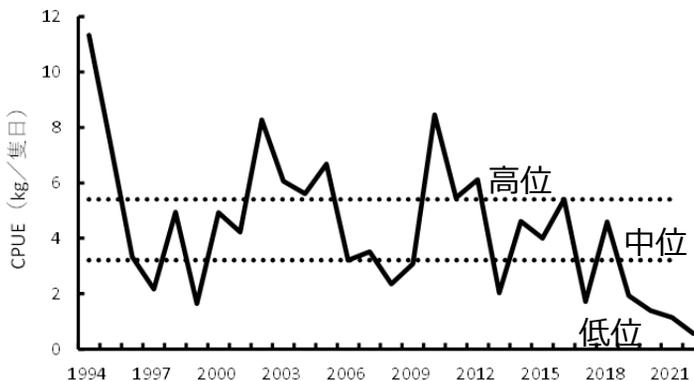
漁業の特徴

- ・ 伊勢湾～湾口にかけて、主に小型底びき網で漁獲されるが、かつてはかごによる水揚げもあった。
- ・ 漁獲盛期は4～8月で、漁獲主体は1～2歳。
- ・ 夏季は貧酸素水塊の影響を受け、その周辺部に漁場が偏在する。
- ・ かつて湾奥から湾口まで広がっていた漁場は湾奥に限られるようになっている。



資源状態

- ・ 伊勢市有滝地区の小型底びき網のCPUEから資源水準は「低位」とした。
- ・ 同CPUEの直近5年間の推移から資源動向は「減少」とした。



資源管理の取組

- ・ 小型底びき網(まめ板)の定期休漁、操業日数の制限

将来考えられる資源管理の取組

- ・ 小型個体の保護・再放流
- ・ 早期に産卵する大型個体を取り残す